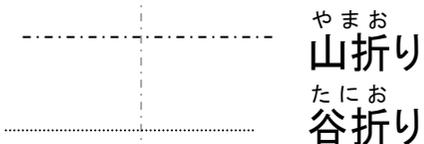


★「両面印刷、短辺を綴じる」で印刷した後、**——**線で切り、点線に沿って折ると
ちい
 小さなパンフレットのようになります。



このミステリーが
 すごい！大賞
 を読みつくす②



LibraryNAVI
 宮崎市立図書館

第8・9回

第8回大賞『トギオ』 **W受賞**
 太朗 想史郎/著 宝島社 2010

捨て子の「白」を拾った健はそのことで、
 村八分にされる。その後、彼は大都会・東暁
 を目指すが…個性的なSF ミステリー。

第9回大賞『完全なる首長竜の日』
 乾 緑郎/著 宝島社 2011

植物状態となった弟の過去を探る淳美。あ
 る電話がかかってきたことによって、淳美の
 周囲で不可解なことが起こりはじめ…

第11回

第11回大賞『生存者ゼロ』
 安生 正/著 宝島社 2013

石油掘削基地で、職員全員が死体で発見
 された。自衛官の廻田と感染症学者の富樫
 は被害拡大を阻止しよう命じられ…未知
 の恐怖との闘いを描くパニック・スリラー。

第11回優秀賞『秘密結社にご注意を』
 新藤 卓広/著 宝島社 2013
 宮崎出身

ストーカー癖のある青野、息子を誘拐され
 た伏見、ピッキングが趣味の優作。並走する
 3つの物語と交差するいくつもの人生。そし
 てそれぞれの事件の行方は？

第13回

第13回大賞
 『女王は
 かえらない』
 降田 天/著
 宝島社 2015

ある日、美しい
 転校生・エリカが
 田舎の小学校に
 やってきた。クラ
 スの“女王”とし
 て君臨していた
 マキの座は脅か
 され、物語はまさ
 かの展開に…

2022.10

第12回

第12回大賞『特命指揮官』

梶永 正史/著 宝島社 2014

W受賞

知能犯を追うため、電卓ばかりを叩いている捜査二課主任代理の彩香。ある時、立てこもり事件の指揮をとることになり…警視庁捜査二課シリーズ1作目。

第12回大賞『一千兆円の身代金』

八木 圭一/著 宝島社 2014

W受賞

大物政治家の孫が誘拐され、捜査一課特殊犯係が国家の威信をかけた大捜査網を展開する。やがて捜査陣は、あるブログの存在に行き着くが…

第10回

第10回大賞『弁護士探偵物語/天使の分け前』

法坂 一広/著 宝島社 2012

司法と検察に異を唱えたことで、懲戒処分を受けた弁護士の「私」。闇に葬られた数々の事件の真相に弁護士探偵が迫る。

第10回隠し玉（宝島社編集部推薦賞）

『珈琲店タレーランの事件簿』

岡崎 琢磨/著 宝島社 2012

「珈琲店タレーラン」の女性バリスタ切間美星を主人公にした謎解きミステリー。現在も続編が出版され、累計210万部を超える人気シリーズになった。

第8回

第8回大賞『さよならドビュッシー』

中山 七里/著 宝島社 2010

W受賞

火事で全身に大火傷を負った遙は、それでもピアニストになるためレッスンに励む。しかし、周りでは不吉な事件が起こりはじめ…

著者の中山さんはその後ヒット作を連発し、人気作家となりました。「魔女は甦る」や「連続殺人鬼カエル男」など、以前このミス大賞に応募して落選した作品も単行本化しています。